

2016.7 まちの誇り ぶち★まら きらり

インターハイ盛り上げちやる隊（IMC隊）

8月5日から7日までの間、県

立下関武道館で「平成28年度全国高等学校総合体育大会（インターハイ）のなぎなた競技大会があります。この大会を地元高校生によるPRで大いに盛り上げるために「高校生活動下関地区推進委員会」（下関地区IMC隊）が結成されました。

推進委員は下関地区の推進校である長府高校、下関南高校、下関工業高校・工科高校、西市高校、下関中等教育学校の生徒から選出されています。

歓喜と熱気を下関でも

昨年7月28日から8月20日に近畿ブロックで開催されたインターハイを視察した中等教育学校の推進委員は、同年代の選手たちが躍動する姿と、会場全体が歓喜に包まれている光景を目の当たりにしました。この歓喜や会場の熱気を

下関でも感じてほしい、自分たち高校生から市民や来関する皆さんにその熱気を伝えたいという思いを強く抱きました。その思いを下関地区推進校会議で視察報告と共に伝え、推進校である5校を中心に一致団結してPR活動などを行うことになりました。

下関地区IMC隊の活躍

中国5県で高校生活動が活発になる中、山口県では山口県高校生活動推進委員会の愛称を「インターハイ盛り上げちやる隊」略して「IMC隊」と決定しました。IMC隊のロゴには、下関中等教育学校の生徒が書いたものが選ばれ、下関南高校の生徒が原画を描いたなぎなた競技大会ポスターも完成しました。



市内でのPR活動として、まずは同年代の高校生に活動を広げようという、インターハイの横断幕を市内全ての高校、中等教育学校、総合支援学校がリレー形式でつないで集合写真を撮影しました。

市民に対しては、下関駅や会場となる県立下関武道館前でティッシュ配りによるPR活動を積極的に行ったり、会場に飾る花の苗を育てるなど、元気に明るく活躍しています。

開幕まであと1カ月

いよいよ開幕まで1カ月です。地区推進委員会議では「これから、大会当日に下関を訪れる全国の方々を歓迎するため、PR活動に加え、大会会場に掲げる手書き応援のぼり旗の制作を市内の高校生で行います」大会期間中は、新下関駅で案内所の設置運営を私たちに任せ、準備を進めています。

今後も各推進校で自主的なPR活動・清掃活動などを行います。下関地区IMC隊としては、大会開催直前最後のPR活動を7月29日（金）に下関駅前で行う予定となっています。

高校生が手作りで行うインターハイのPRとおもてなし活動。8月5日から7日に下関で開催されるインターハイの盛り上がりがとて楽しみます。



- ① 下関地区IMC隊の皆さん
- ② なぎなた競技大会ポスター
- ③ 練習に励む長府高校なぎなた部の皆さん
- ④ 下関中等教育学校で開催された下関地区推進委員会議の様子
- ⑤ 花の苗を植える西市高校の皆さん